

中山町の将来の学校のあり方に関するアンケート調査の結果

【アンケートについて】

- 1) 対象 15歳以上の町民
- 2) 実施期間 10月4日(土)から10月19日(日)まで
- 3) 方法 オンライン回答または紙面回答
- 4) 回答者数 95名

【質問内容について】

問1) 町民説明会について

- ① 町民説明会に参加されましたか。(該当する番号に1つ○)

1…はい 2…いいえ

- ② 参加された方はお答えください。いつの説明会ですか。(該当する番号に1つ○)

1…第1回 10月4日(土) 長崎小学校体育館

2…第2回 10月5日(日) 豊田小学校体育館

3…第3回 10月13日(月・祝) 中山中学校体育館

問2) ご回答者について

- ① 回答されている方の年代、お住いの学区を教えてください。

年代 (該当する番号に1つ○)

1…15～19歳 2…20～29歳 3…30～39歳

4…40～49歳 5…50～59歳 6…60～69歳

7…70歳以上

お住いの学区 (該当する番号に1つ○)

1…長崎 2…豊田

- ② ご家族について教えてください。

中学生以下の子どもがいる (該当する番号に1つ○)

1…いる 2…いない

中学生以下の子どもがいる方は、お答えください。

回答者 (該当する番号に1つ○)

1…父母 2…祖父母 3…その他

子どもについて (該当する番号すべてに○)

1…小学生未満 2…小学生 3…中学生

問3) 「施設一体型の義務教育学校」をつくることについて

- ① 期待することは何ですか。 (該当する番号3つまで○)
- 1 …学力が向上すること
 - 2 …社会性や協調性が育まれること
 - 3 …より幅広い異学年間の教育活動や交流活動が活性化されること
 - 4 …多くの人や考えに触れる機会が増えること
 - 5 …学校行事を含む学校教育活動が活発になること
 - 6 …地域の特色や人材を活かした教育活動を行うこと
 - 7 …それぞれの学校の伝統や文化を継承すること
 - 8 …地域や保護者の輪が今よりも広がること
 - 9 …安全・安心な環境で学べること
 - 10 …その他 ()

② 心配なことや不安なことがありましたら記入ください。

③ その他、ご意見がありましたら記入ください。

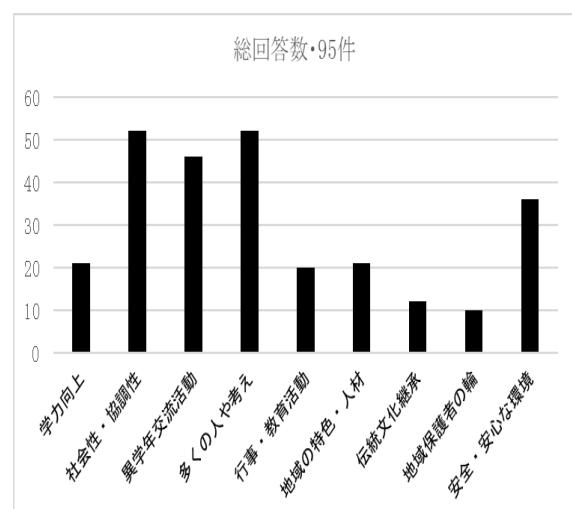
【回答結果および内容について】

1) 年代・学区別回答者数(名)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代~	合計
長崎学区	1	8	20	22	8	12	1	72
豊田学区	0	0	3	10	2	6	2	23
計	1	8	23	32	10	18	3	95

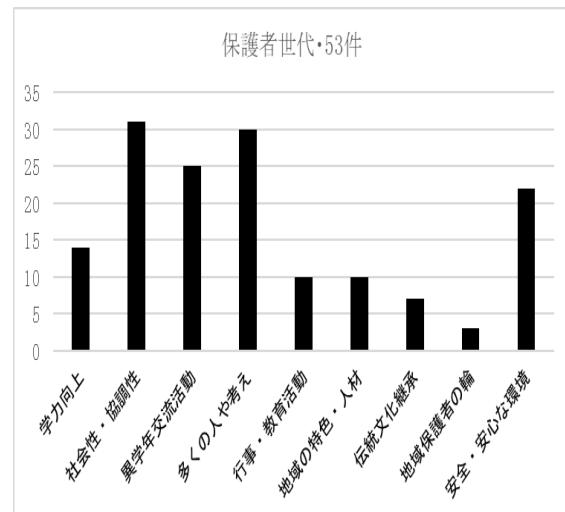
2) 問3の①について (全回答者数)

		全体	長崎	豊田
1	学力向上	21	15	6
2	社会性・協調性	52	40	12
3	異学年交流活動	46	36	10
4	多くの人や考え	52	37	15
5	行事・教育活動	20	15	5
6	地域の特色・人材	21	16	5
7	伝統文化継承	12	7	5
8	地域保護者の輪	10	10	0
9	安全・安心な環境	36	28	8



3) 問3の①について（保護者世代数）

		保護者	長崎	豊田
1	学力向上	14	12	2
2	社会性・協調性	31	25	6
3	異学年交流活動	25	21	4
4	多くの人や考え	30	23	7
5	行事・教育活動	10	7	3
6	地域の特色・人材	10	7	3
7	伝統文化継承	7	4	3
8	地域保護者の輪	3	3	0
9	安全・安心な環境	22	18	4



自由記述について、おもなものをまとめました

4) 問3の②「心配なことや不安なこと」、③「その他のご意見」

【将来の学校に関することについて】

- ・義務教育学校について設置についてとてもよいと思います。
- ・中山町の人口減少や子どもの人口減少が問題視されではいますが、小さい町ならではの教育施設だと私は賛成です。義務教育学校にしかできないことや、上級生と下級生の関わりが増える事で様々な考え方につれ、接し方を身に付けられるのではとワクワクしています。
- ・小学校から中学に上がる時に、節目の行事は生徒たちが自覚出来るようにぜひ行って欲しいです。今までの卒業式という方ではなくても良いと思います。自分達で卒業の形を考えて行っても良いのではないかと思います。
- ・小中一貫で、町が目指す学びの場をつくるいくには義務教育学校という形も新たな可能性が感じられていいと思います。
- ・生徒数が増えることで、生徒ひとりひとりに対応する時間が減る事はないか心配ではあります。
- ・不登校気味の児童が中学進学を機に学校に行けるようになることもありますが、ずっと同じ環境だと、そうした機会がなくなるのではと心配です。地域の伝統文化に触れる授業が現段階でも昔に比べると少なくなっているように感じますが、さらに限られてしまう気がします。
- ・懸念することは、いじめなどや思春期の問題（不登校）などがあった時に、学校に行けなかった子が中学に変わる時、環境の変化などで行けるようになった子もいると思います。しかし義務教育学校になった時、学校に行けなくなった子や保健室で授業を受けている子達のことが、学校全体に知られ変わるきっかけがないのではという心配はあります。そのことを対処できる対策があれば良いと思っております。
- ・豊田小学校、長崎小学校、中山中学校、3校をもっと交流するべきだと思います。将来義務教育学校にするのならば子どもたちのギャップを少しでも埋める為にも長期的な長い時間をかけて3校の交流、合同で運動会、芋煮会などしてもいいのでは。

【学校の統合について】

- ・小学校の統合のみと考えていましたが、小中一貫校に向けて考えられていることを知り驚きましたが、内容を見て賛成できました。
- ・小中学一貫校について賛成です。
- ・1つの学校になり色々学べて交流を深めることができ、育成と成長のメリットがあると思います。
- ・義務教育学校の設置、とてもよいと思います。
- ・豊田地区の子供の数が少なく同級生が10人に満たない状況です。親としては同級生が多い方が人間関係などいろいろな人と接しながら教育が受けられるので、いち早く合併を望みます。
- ・学校に関しては豊田地区の児童をバス通学などにして、統一校にするような案しか思いつきません。
- ・周囲から学びつつ、新しいこと中山町だからでできることを実施してください。
- ・再配置をするにあたりどこに配置するのか気になる。
- ・小学高学年になっても卒業した先輩が同じ校舎にいるのも甘えが出ないか不安です。ただ、小学校の老朽化は確かに早急に解決しなければいけませんし、少子化で2校も要らないと思います。できれば小学校、中学校別々で、小学校は統合でお願いしたいです。
- ・長崎小、豊田小の小学校統合を願います。
- ・今の豊田小学生の少人数での良さがなくなってしまうのが心配です。
- ・豊田小学校の少人数から大人数の学校になった場合適応できない子どもも必ず出ると思われる。今以上に学校同士の交流を多く、長い期間をかけてしていったらいいと思う。

【学校の施設について】

- ・9学年が1つの施設を使用するため、特に行事前などで体育館、グラウンド、プール等の設備が十分に共有されるのか心配です。
- ・同じ校舎で小中が一緒の場合、体育館が1つになると授業数でも制限され、休み時間も小学生は好きに遊べなくなるのではないか。小学生と中学生が同じ校舎だと高学年でもうるさいクラスもあるので、中学生の受験に向けた勉強には向きだと思う。
- ・人数に対して体育館や運動場のスペースが足りるのか。単純に考えて小学生と中学生の授業が被って体育館が使えないことがおこらないのか。
- ・小学生、中学生で精神面、肉体面での成長の段階が異なるので、そういうことに配慮された教育や施設になるのかの心配はある。ただ、小中学校が1つになるだけでなく、1つになるメリットデメリットを考慮したなかで進められるのかについても心配ではある。

- ・現在長崎小学校には十分な駐車場がなく、徒歩で運動会等に未就学児を連れて来校したり、植木鉢を持ち帰ったりするのが困難です。今後新たに施設を整備するのであれば、十分な駐車場を確保してほしいです。また、事故や熱中症のリスクがあるため、学童保育は引き続き学校内に併設してほしいです。

【通学方法について】

- ・通学が遠くなる子にはスクールバスを検討してほしいです。
- ・通学について遠くなる地区は登下校が心配なのでスクールバスをお願いしたい。人数も少なくなるのであれば必ず。
- ・通学、下校時の安全のためスクールバスの運用を検討して頂きたいです。
- ・登下校。特に登校。積極的にバス使用、自車送迎を可能にしてほしい。
- ・通学距離が遠い。
- ・登下校がどのようになるのか。徒歩なのかスクールバスなのか、自転車なのか。学校の場所によってどのようになるのだろうかと思いました。

【学校づくりについて】

- ・地域の人との交流で学べることが多くあると思いますがそれがなくなったら悲しい。『豊田祭』や『とよっこいもに』などイベントも多く縦の学年との交流が豊田小の魅力だと思うので中高一貫になんでもみんなが仲良くなれるイベントを提案してほしい。
- ・子ども自体が少ないので、この学校にいきたいと思えるような学校づくりが大事ではないかと思います。

【これから進め方について】

- ・近隣の市町村をみても学校統合は当然の未来です。どのように進めていくか児童生徒数の年度別の見込みなどを明確にして、早め早めに取り組んでいただきたいです。
- ・即効性があるかはわからないが、若い世帯が町外から転居したいと思える町にして欲しい。
- ・他の市町村が、少子化において義務教育学校含む統合などの様々な対応を進めていく中、中山町の対策が進まずにいることを不安に思っています。
- ・来年度、町の公共施設再配置事業に係る審議会において、まさかこの提言が真っ白になるようなことはあってはならないと思います。子供たちの成長は秒単位です。子供や、その家族の未来への不安を、少しでも早く安心に変えて欲しいと願います。
- ・説明会でも質問に挙がっていましたが、やはり、いつ（令和何年度）から先の構想を考えているのか、その「スタート地点」を明確にすべきだと思います。（その際、「少子化だから」、または「校舎が老朽化しているから」、などの表面的な課題解決の視点だけでなく、「教育がどうあるべきか」という本質的な課題に対する議論が必要だと思われます。）

- ・もっと多くの町民に話を聞いてもらい、意見を聞く場が必要だと感じます。幼稚園・保育園、小中学校の保護者が集まる機会に説明の場を設けるなど。また、準備段階に入る前の時点で子どもたちの声もできれば聞いてほしいです。みんなが関わってできる学校であってほしいと思います。

たくさんのご意見ありがとうございました。いただいたご意見を今後、答申作成の際に参考にさせていただきます。